

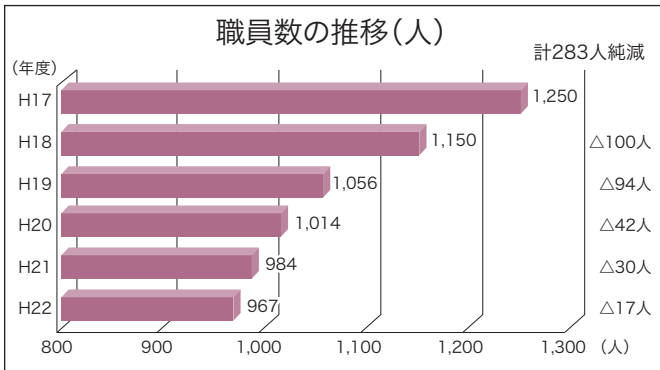
第4次行革で身の丈に合った体制へ

市では、「やさしさと活力にあふれるまち飛騨高山」を目指して、平成17年度に「第4次行政改革大綱(第4次行革大綱)」を策定して以来、5年間にわたり全庁的に行政改革に取り組んできました。

市町村合併後に策定した第4次行革大綱では、肥大化した行財政基盤を身の丈に合った体制に縮減することを最優先の課題として取り組んできました。具体的には合併当初1250人の職員数を967人まで削減するなど、5年間で120のさまざまな改革項目について取り組み、総額で約87億円の節減効果につなげました。

節減だけではない行政改革

ただ経費を節減するだけが行政改革ではありません。節減して生み出された貴重な財源を市民サービスの向上のために有効活用することが行政改革の重要なポイントです。第4次行革大綱を推進する間にも子育て支援や医療体制の



平成21年度の主な取組み

1 職員の改革

第3次人材育成基本方針の策定
国・県・他市などとの人事交流の促進(25人。観光庁、金沢市、横浜市など新規派遣を実施)
人事評価の見直し(評定項目に「服務規律等の遵守」と「さわやかマニュアルの実践」を追加)
17人の職員および6人の嘱託職員を削減
時間外・休日勤務の縮減

2 組織・機構の改革

課題に対応するため組織の見直しを決定(地域政策課、医療課、生活環境課の新設)
自主防災組織に対して防災意識の啓発と訓練実施

3 財政の改革

企業会計的手法による財政分析の導入(総務省方式改定モデルによる財務諸表の作成)
ふるさと納税の促進(寄附実績22件 276万8千円)
公共工事の計画、設計、手法の見直しによるコスト縮減。17年度実績に対し3.5%のコストを縮減
収納率向上の取組み(市税98.00% 国民健康保険料95.15%)

4 事業の改革

給与関係業務、共済関係業務などの一部について委託化を決定
ごみ埋立業務委託化を決定
民間保育園との人事交流を実施(2人)
乗鞍山麓五色ヶ原の森の指定管理者制度導入を決定
7公園の指定管理者制度導入を決定
更新時期となる施設を含む102施設の指定管理者を決定
地方税ポータルシステム、エルタックス共同利用審査システムの導入
ホームページへの地図NAVI構築
公共交通総合連携計画の策定
自動起動防災ラジオ普及事業補助、緊急地震速報設備整備事業補助の実施
支所、公民館、図書館機能をもつ国府支所の建設開始
第三次権限移譲事務への対応(33業務の移譲)
公用車の削減(10台削減)
上下水道料金の支払方法の見直し(振替命令による支払いに変更)

5 市民参画による改革

第七次総合計画ほか各種計画策定時における市民懇談会の開催、市民意見募集制度の運用
市民と市長の語る会の開催(全支所地域)、市長面談日の実施等
社高山青年会議所と若手職員の協働政策発表プロジェクトの開催

行政改革。

行財政基盤の強化と市民協働に重点

第5次行革大綱がスタート

新たに策定した「高山市第5次行政改革大綱」の取組みが今年度からスタートしました。

今号では平成21年度に取り組んだ行政改革の実績と、新たな大綱の初年度となる平成22年度の年次計画についてお知らせします。

ピックアップ! 21年度の取組み



指定管理者制度を導入した乗鞍山麓五色ヶ原の森



公民館・図書館などの複合的機能を持つ国府支所庁舎(完成予想図)



社高山青年会議所と若手職員の協働政策発表プロジェクト